

A 地方創生拠点整備交付金の採択を受け、道の駅の増築に伴う補正予算を今定例会に1億9,800万円を計上した。議決をいただいた後、実施設計を委託する。建築工事の概要については、現在の物産館の北側に別棟でレストランを建設する。1階に子供から大人まで楽しめる自然食レストラン、2階には、さし茶カフェと梅山豚と常陸牛の地場産の鉄板焼きスペースを配置し大人数の観光客向けに対応できる空間を確保する計画である。4月上旬までに基本計画を示して7月中旬に工事を発注していく予定である。

(秘書公室長)

Q 圏央道全線開通に向け、ふるさと納税感謝祭など、寄付者への還元事業は何か考えているか。ぜひ境町を訪れていただけるような事業を実施していただきたい。

A ふるさと納税をされた方から、境町に「是非訪れてみたい」とのコメントが寄せられており、寄付者の約32パーセントが東京に住んでいるので感謝祭を東京で実施することも考えているが、現在計画している内容は、7月のふるさと祭り花火大会の当日、バスで迎えに行き、境町に来ていただく計画

を考えている。

(秘書公室長)

その他、ふるさと納税の使い道について質問しました。

議席2番

青木 輝明 議員



生産者調整(米)の今後について

Q 平成30年以降、米の価格の下落や耕作放棄地が懸念されるが町は何か対策を考えていますか。

A コシヒカリやユメピリカなどブランド米を含めた米価の下落が懸念される中、当町におきましては、平成30年以降の米価の下落に対応するため民間企業との協定締結により付加価格をたかめる施策を平成29年度予算に計上させていただいております。

具体的には次世代の農業として

必要な知識や技術を習得し農業生産法人の創設や販路拡大、6次産業化などの経営感覚を身につけるための「農業新時代の次世代型人材育成支援事業」繁忙期の人手不足を解消するためにサポーター制度を取り入れ、町民と農家を農業で繋ぐ「農業サポーター制度支援事業」最新鋭機器であるドローン

(建設農政部長)

議席7番

渡邊 昇 議員



交通事故防止対策について

Q 免許自主返納者にタクシー代補助金の考えは。

A 高齢者全体の支援策を検討する事が重要であると考え、公共交通の整備も含め、先進的な自治体の取り組みなどを参考に検討して行きたい。(防災安全課長)

Q 国道354号線から新4号の上り線に伴う左レーンの進捗状況は。

A 事業主体である境工事事務所によると国や警察、関係機関との協議を進め、地元の合意が得られれば用地買収に着手していくとのことである。(建設農政部長)

子育て支援について

Q 放課後児童クラブの希望者の増加対策に静小学校内に作れないか。

A 来年とは言いえないが作る方向で協議中である。(町長)

Q 赤ちゃん支援クーポン券の期間延長の考えは。